

# 令和7年度 相川学園静清高等学校 学校評価書

令和8年4月1日

学校法人相川学園静清高等学校 校長 小関 直樹

1 建学の精神	「産学一體」
2 校 訓	校訓「覇気 明朗 信念 実行」
3 教育目標	<p>本校の全ての教育課程・活動はこれを基盤とし目標とする。</p> <p>(1)勤労愛好 強健な身体と健全な精神の上に、豊かな情操を兼備して、真に勤労を愛好する有為な人材を育成する。</p> <p>(2)中庸と奉仕 正しい人生観と、公正な世界観を持つと共に、社会への奉仕を惜しまない有為な人材を育成する。</p> <p>(3)創意工夫 産業立国の精神に基づいて、創意工夫の能力を備えた有為な人材を育成する。</p> <p>(4)希望進路の成就 文理探究科卒業生の進路状況検証しつつ、普通科教育の充実を努め生徒の進路希望実現を図る。また、工学探究科についても就職内定率100%を目指す。</p>
4 学校評価目標	<p>「社会貢献できる主体性のある生徒を育成する」</p> <p>(1)学びの充実 生徒が自ら考え、お互いが学びあえる新しい取り組みに挑戦する。</p> <p>(2)ルール・モラル・礼儀を遵守し、誠実に人と接し、謙虚で他を敬う心を身につける。</p> <p>(3)良好な基本的生活習慣の獲得を家庭、学校で連携し身につける。</p> <p>(4)ボランティア活動を通し、社会貢献し、自己肯定感、幸福感を高める。</p> <p>(5)あらゆる分野から個々に自信をつけさせる。</p> <p>(6)改善の可視化として、アンケート調査の数値目標を設定し、各項目A+B評価80%を目指す。</p>
5 取組の概要	<p>本項に示す取組は、いずれも現在進行中のものであり、取組の在り方や効果については、継続的に検証・改善を行いながら進めている段階である。成果の定着については、今後の取組の積み重ねを通して図っていく。</p>

6 学校評価表

学校評価目標	具体的な取り組み	自己評価	成果と課題	関係者評価
<p>(1)学びの充実</p> <p>生徒が自ら考え、お互いが学びあえる新しい取り組みに挑戦する。</p>	<p>ア 基礎学力の定着</p> <p>基礎学力の定着に向け、授業改善や補習体制の工夫等に取り組んでいるが、生徒の状況には一定のばらつきが見られる。引き続き、課題の把握と適切な対応を行っていく必要がある。</p>	<p>B</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・若手教員による研究授業および公開授業を実施し、授業改善に向けた検討を行っている。</li> <li>・定期試験の結果を踏まえ、学力補習を実施している。</li> <li>・各学期において、成績不振生徒を対象とした補習および三者面談を実施している。</li> <li>・漢字検定およびその対策補習に取り組んでいる。</li> <li>・進路ガイダンス等を年間計画に基づき実施している。</li> <li>・各種模試(文理探究科:年5回、工学探究科:年3回)を実施し、結果の共有および活用を行っている。</li> <li>・ICT機器を活用した授業の工夫・改善に取り組んでいる。</li> </ul>	<p>A</p>
<p>(1)学びの充実</p> <p>生徒が自ら考え、お互いが学びあえる新しい取り組みに挑戦する。</p>	<p>イ 進路意識および学習意欲の向上</p> <p>生徒の進路意識および学習意欲の向上を目的として、各コースの特性を生かした学習プログラム「未来の教室」を運営している。各取組の効果については、現在検証を進めている段階であり、今後も改善を重ねながら充実を図っていく。 (スクールガイド2026「改造進む、相川学園 静清高校」参照)</p>	<p>A</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・文理探究科</li> </ul> <p>「進学プログラム」の内容について、アカデミックセミナーチューター制などの各取組の現状を検証し、生徒一人ひとりの学習到達度や進路希望により適切に対応できているかを踏まえながら検討を行っている。あわせて、学習意欲の向上や学力の定着、進路実現に一層つながるよう、より効果的で実践的な在り方について継続的に模索している。</p>	<p>A</p>
<p>(1)学びの充実</p> <p>生徒が自ら考え、お互いが学びあえる新しい取り組みに挑戦する。</p>	<p>イ 進路意識および学習意欲の向上</p> <p>生徒の進路意識および学習意欲の向上を目的として、各コースの特性を生かした学習プログラム「未来の教室」を運営している。各取組の効果については、現在検証を進めている段階であり、今後も改善を重ねながら充実を図っていく。 (スクールガイド2026「改造進む、相川学園 静清高校」参照)</p>	<p>A</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・工学探究科 I 類 「ITエキスパートコース」</li> </ul> <p>本コースでは、情報技術分野の急速な社会変化に対応するため、業務提携先であるシステムシェアード社と連携し、教育内容やカリキュラムの継続的な改善を行っている。企業の最新の技術動向や実務的視点を取り入れ、実社会に直結した実践力の育成を重視した教育を推進している。</p> <p>来年度には、本コースの生徒が第1号として同社へ入社予定であり、教育成果が具体的な進路実現として結実している。今後は、この実績を基盤に企業連携をさらに充実させ、インターンシップ等の導入も含め、実践的なIT人材の育成を目指す。</p> <p>令和7年度文部科学省「デジタル人材加速化推進事業 (DXハイスクール)」において、プロフェッショナル型採択校 (全国40校・県内1校) として2年目の取組を進めている。</p>	<p>A</p>

学校評価目標	具体的な取り組み	自己評価	成果と課題	関係者評価
<p>(1) 学びの充実</p> <p>生徒が自ら考え、お互いが学びあえる新しい取り組みに挑戦する。</p>	<p>イ 進路意識および学習意欲の向上</p> <p>生徒の進路意識および学習意欲の向上を目的として、各コースの特性を生かした学習プログラム「未来の教室」を運営している。各取組の効果については、現在検証を進めている段階であり、今後も改善を重ねながら充実を図っていく。 (スクールガイド2026「改造進む、相川学園 静清高校」参照)</p>	B	<p>・工学探究科Ⅰ類 「スポーツエキスパートコース」</p> <p>本コースは、本年度新たに設置されたものであり、専門性の高い学びを実現するため、スポーツドクター、理学療法士、柔道整復師などの外部講師と連携しながら、教育内容の充実を図っている。授業では、競技力向上に不可欠なケガの予防やコンディショニング、栄養管理に関する知識に加え、現在の長寿社会を見据えた健康づくりや生涯スポーツの視点も取り入れ、理論と実践の両面から学べる内容となるよう検討および実践を進めている。また、校外研修にも力を入れており、帝京大学や帝京平成大学などのスポーツ系学部との連携を通して、大学レベルの専門的な学習環境に触れる機会を設けている。さらに、オリンピック関連施設等において、最新の測定機器やワットバイクなどを用いた身体能力測定やデータ分析を体験することで、科学的根拠に基づいたスポーツ理解を深めている。</p> <p>今後は、これらの取組を一層発展させ、将来の進学やスポーツ関連分野での活躍につながる、より実践的で魅力あるコース運営を目指していく。</p>	A
<p>(1) 学びの充実</p> <p>生徒が自ら考え、お互いが学びあえる新しい取り組みに挑戦する。</p>	<p>イ 進路意識および学習意欲の向上</p> <p>生徒の進路意識および学習意欲の向上を目的として、各コースの特性を生かした学習プログラム「未来の教室」を運営している。各取組の効果については、現在検証を進めている段階であり、今後も改善を重ねながら充実を図っていく。 (スクールガイド2026「改造進む、相川学園 静清高校」参照)</p>	B	<p>・工学探究科Ⅱ類 「機械コース」「電気コース」 「キャリアクリエイトコース」 「ロボットコース」</p> <p>本校では「ワークブラクティス」を主軸とした教育活動を展開し、企業の第一線で活躍する技術者や担当者と直接関わる機会を通して、教科書だけでは得られない実践的でよりリアルな技術・技能の習得を図っている。あわせて、仕事に対する姿勢や責任感、協働する力など、社会人として求められる心構えを学ぶことにも重点を置き、技術面にとどまらず人間的な成長を視野に入れた取組を進めている。</p> <p>こうした教育実践の成果や社会的ニーズを踏まえ、現在は令和8年度に予定している「総合工学コース」の新設に向けて検討を進めており、より幅広い分野に対応できる教育体制の構築を目指している。</p>	B

学校評価目標	具体的な取り組み	自己評価	成果と課題	関係者評価
<p>(1) 学びの充実</p> <p>生徒が自ら考え、お互いが学びあえる新しい取り組みに挑戦する。</p>	<p>イ 進路意識および学習意欲の向上</p> <p>生徒の進路意識および学習意欲の向上を目的として、各コースの特性を生かした学習プログラム「未来の教室」を運営している。各取組の効果については、現在検証を進めている段階であり、今後も改善を重ねながら充実を図っていく。 (スクールガイド2026「改造進む、相川学園 静清高校」参照)</p>	B	<p>・通信制課程</p> <p>本年度、新たに通信制課程を設置し、不登校生徒への対応や本校全日制課程からの転籍など、多様な背景や状況を抱える生徒一人一人に応じた学びの機会の確保に取り組んでいる。近年、不登校生徒の増加が全国的な課題となる中、本校においても、生徒が安心して学びに向き合える環境づくりの必要性が高まっている。こうした状況を踏まえ、学習面のみならず、生活面や進路面においても継続的な支援を行い、将来的に社会の一員として自立していく力を育成することを目指している。</p> <p>あわせて、静岡駅前にある相川鉄工本社ビル1階に学習支援センターを設置し、通学に対する心理的・地理的負担の軽減を図っている。現在は支援体制や運営方法について検証を行っている段階であり、来年度に向けては教室機能の整備を進めるとともに、生徒の実態に応じた支援の在り方について、引き続き検討を重ねていく予定である。</p>	A
<p>(1) 学びの充実</p> <p>生徒が自ら考え、お互いが学びあえる新しい取り組みに挑戦する。</p>	<p>ウ 資格取得のサポート支援</p> <p>生徒の進路意識の向上や将来の選択肢の拡大を図ることを目的として、資格取得に向けた校内支援体制の整備を段階的に進めている。具体的には、各種検定・資格に関する情報提供や受検案内を行うとともに、受検状況や生徒一人一人の取組の様子を把握し、必要に応じた支援につなげるよう努めている。</p> <p>合格実績等を含めた取組の成果については、現時点では十分な検証に至っておらず、今後も継続的に状況を確認しながら、支援の在り方について検討を重ねていく必要がある。</p> <p>また、生徒が自らの関心や将来像に応じて各種検定や資格取得に挑戦しやすい環境づくりを継続しており、学習意欲の喚起や主体的な学びの促進につなげていくことを目指している。</p>	B	<p>各種検定合格者</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・漢字検定 <ul style="list-style-type: none"> <li>2級2名 準2級12名</li> <li>3級44名 4級28名</li> </ul> </li> <li>・英語検定 <ul style="list-style-type: none"> <li>準1級1名 2級4名</li> <li>準2級6名 3級13名</li> </ul> </li> <li>・第二種電気工事士 3名</li> <li>・危険物取扱者乙種第4類 1名</li> <li>・フォークリフト運転技能講習 47名</li> <li>・クレーン特別教育 40名</li> <li>・玉掛け技能講習 20名</li> <li>・小型車両特別教育 10名</li> <li>・高所作業車特別教育 40名</li> <li>・パソコン利用検定 <ul style="list-style-type: none"> <li>3級43名 2級146名</li> </ul> </li> <li>・情報技術検定 <ul style="list-style-type: none"> <li>3級10名 2級29名</li> </ul> </li> <li>・日本語ワープロ検定 <ul style="list-style-type: none"> <li>3級61名 準2級7名</li> <li>2級6名 準1級1名</li> <li>1級0名</li> </ul> </li> <li>・情報処理技能検定 <ul style="list-style-type: none"> <li>3級68名 準2級19名</li> <li>2級8名</li> </ul> </li> </ul>	B

学校評価目標	具体的な取り組み	自己評価	成果と課題	関係者評価
<p>(1)学びの充実</p> <p>生徒が自ら考え、お互いが学びあえる新しい取り組みに挑戦する。</p>	<p>部活動・生徒会活動等での自立性、規律性、社会性の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・強化部活 男子硬式野球部 女子硬式野球部 サッカー部 バレーボール部</li> <li>・運動部 卓球部 剣道部 硬式テニス部 ソフトテニス バスケットボール部 他</li> <li>・文化部 音楽部 書道部 情報研究部 他</li> <li>・同好会 ブレイクダンス同好会 軽音楽同好会 工遊会同好会 他</li> </ul>	B	<p>主な成績</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○バレーボール部 <ul style="list-style-type: none"> <li>・高校総体県大会準優勝</li> <li>※東海高校総体出場</li> <li>・春の高校バレー県大会優勝</li> <li>・春の高校バレー全国大会出場（7年ぶり4回目）ベスト16</li> </ul> </li> <li>○女子野球部 <ul style="list-style-type: none"> <li>・全国高校女子硬式野球選手権大会出場（兵庫県）ベスト16</li> <li>・全国高校女子硬式野球ユース大会（岐阜県）ベスト8</li> <li>・全国高校女子硬式野球選抜代表選出 成岡妃紗良（32HR）</li> <li>※イチロー選抜とバンテリンドーム名古屋で対戦。イチロー選手、松井稼頭央選手、松坂大介選手ら元メジャーリーガーと対戦し、3人をすべて内野ゴロに打ち取る。</li> </ul> </li> <li>○男子硬式野球部 <ul style="list-style-type: none"> <li>・春季東海地区高校野球静岡県大会出場</li> <li>・全国高等学校野球選手権静岡県大会出場</li> <li>・秋季東海地区高等学校野球静岡県大会出場</li> </ul> </li> <li>○サッカー部 <ul style="list-style-type: none"> <li>・全国高校選手権静岡県大会出場</li> <li>・高校新人戦県大会出場</li> </ul> </li> <li>○卓球部 <ul style="list-style-type: none"> <li>・東海選手権大会出場 大塚梨央（13HR）</li> <li>・全日本選手権ジュニア県大会出場 大塚梨央（13HR）</li> </ul> </li> <li>○陸上競技部 <ul style="list-style-type: none"> <li>・東海高校新人選手権大会出場 やり投げ 三橋智成（25HR）</li> <li>※2010年以来15年ぶりの出場</li> <li>・高校新人選手権県大会出場 やり投げ 三橋智成（25HR） 円盤投げ 三橋智成（25HR） 砲丸投げ 山内諒（24HR） ハンマー投げ 萩原陽向（25HR）</li> <li>・高校総体県大会出場 1500M 牧野新大（25HR） 3000M障害 鈴木誠矢（36HR） 走幅跳 飯塚千紘（35HR） 砲丸投げ 山内諒（24HR） 円盤投げ 木村圭吾（35HR） 円盤投げ 三橋智成（25HR） やり投 萩原陽向（25HR）</li> </ul> </li> </ul>	A

学校評価目標	具体的な取り組み	自己評価	成果と課題	関係者評価
		B	<p>○硬式テニス部</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・高校総体県大会出場 団体 シングルス 谷川鳳貴(17HR) ダブルス 中嶋柁稀(26HR) 谷川鳳貴(17HR)</li> <li>・高校新人県大会出場 ダブルス 中嶋柁稀(26HR) 谷川鳳貴(17HR)</li> </ul> <p>○ソフトテニス部</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・高校総体県大会出場 団体</li> </ul> <p>○剣道部</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・高校総体県大会出場 団体</li> </ul> <p>○工游同好会</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・全国高校ARDF競技大会出場 (新潟・五頭連峰少年自然の家) クラシック競技 団体の部 ※全国高等学校アマチュア無線 連盟(JHARL)の推薦枠</li> <li>・高校ARDF競技東海地区大会出場 (富士山こどもの国) Fox-o競技 団体の部 3位 クラシック競技 団体の部 準優勝</li> </ul> <p>○ロボット部</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・第34回静岡県高校生ロボット競技大会「自律制御部門」5位</li> </ul> <p>○課題研究(36HR里見教諭グループ)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・第34回静岡県高校生ロボット競技大会「MCR部門」3位</li> </ul> <p>○課題研究(32HR里見教諭グループ)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・第76回静岡県高等学校工業教育研究会 最優秀賞 静岡県教育委員会 教育長賞 ※本校として初の快挙</li> </ul>	A

学校評価目標	具体的な取り組み	自己評価	成果と課題	関係者評価
<p>(2)規範意識・人間性の育成</p> <p>ルール・モラル・礼儀を遵守し、誠実に人と接するとともに、謙虚に他者を敬う心を育成する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・登下校の校門指導及び駐輪場指導</li> <li>・交通マナー指導・整容指導</li> <li>・あいさつ運動 他</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日々の生徒指導において、対話を重視した関わりを通じて生徒理解に努めている。</li> <li>・PTA交通指導の実施(年間2回:6月・9月・1月) 保護者とともに交通マナーの確認を行い、意見交換の機会としている。</li> <li>・各学期に自転車点検を実施し、交通安全に関する注意喚起を行っている。点検項目には、TSマークへの加入確認を含めている。</li> <li>・生徒会と自動車学校による交通街頭指導を各学期1回実施している。通学路において、交通ルール遵守の呼びかけを行っている。</li> <li>・地域交通マナー指導ボランティアの協力による交通マナー指導および施錠確認状況に応じて周知・指導を行っている。</li> <li>・藤枝警察署の協力による駐輪場施錠点検を実施している。点検結果を踏まえ、全体への注意喚起を行っている。</li> <li>・自動車学校との連携 東名自動車学校の協力を得て、学期ごとに交通安全に関する指導を行っている。</li> </ul>	B
<p>(3)基本的生活習慣の定着</p> <p>家庭と学校が連携し、良好な基本的生活習慣の定着を図っている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ネット依存対策講座等の実施</li> <li>・Classi等を利用した保護者との情報共有 他</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者との連携を密にし、遅刻・欠席連絡の相互徹底を図っている。電話やClassiを活用して連絡を行い、欠席が続く場合には家庭訪問を実施している。</li> <li>・月に3回の遅刻が見られた場合、保護者を交えた三者面談を実施している。</li> <li>・正門・駐輪場・生徒昇降口において登校指導を行い、挨拶や服装への声掛けを通じて、生徒の様子把握に努めている。</li> <li>・ネット依存対策講座を実施し、アンケート等を通じて振り返りを行い、適切なネットとの関わり方について考える機会を設けている。</li> </ul>	A

<p>(4) 社会貢献活動の推進</p> <p>ボランティア活動を通して社会に貢献し、自己肯定感および幸福度の向上を図っている。</p>	<p>・学校評価目標の全ての項目において、目標するの取り組みをする。</p>	<p>B</p>	<p>・ボランティア活動への参加が心の成長に寄与するとされていることを踏まえ、個人・団体を問わず積極的な参加を呼び掛けている。</p> <p>・文理探究科では、「総合的な探究の時間」においてボランティア班がごみゼロ運動や福祉施設訪問等の活動を継続している。</p> <p>・地域と連携した新たなボランティア活動について、情報提供があれば検討していきたい。</p>	<p>B</p>
<p>改善の可視化として、アンケート調査の数値目標を設定する。各項目A+B評価80%を目指す。</p>	<p>・学校評価目標の全ての項目において、目標するの取り組みをする。</p>	<p>B</p>	<p>・目標達成に向けて、常日頃から各自が意識を持ってない後とも取り組んでいく。</p>	<p>B</p>
<p>関係者評価より</p> <p>1 学校改革・学校運営</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・現在の学校改革に対する意識の高さを感じた。全職員が同じ方向性で成果を生み出していくことを期待している。</li> <li>・学校改革において様々な工夫が見られ、全体として勢いを感じる。</li> <li>・現在の改革に向けた努力に対し、エールを送りたい。</li> <li>・近年の学校改革に対し、OBとして誇りに感じている。</li> <li>・学校改革に感謝するとともに、今後も一層の推進を期待する。</li> <li>・新しい教育への取組が継続的なものとなるよう、引き続き努力を期待する。</li> <li>・SEISEIのブランド力向上につながる改革を期待する。</li> </ul> <p>2 教育内容・学習指導</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ITやスポーツなど、時代のニーズに応える人材育成に向けた学習プログラムが整備されている。</li> <li>・工業分野における発展的な取組について高く評価したい。</li> <li>・文理探究科におけるマンツーマン指導(英検対策等)やチューター制度に感謝している。</li> <li>・実社会で活用できる英語力の育成がさらに進めば、より一層魅力ある学校になると考える。</li> <li>・社会性を育み、IT社会を生き抜くために必要なリテラシーを身に付けさせる取組がなされていると感じた。</li> <li>・授業の分かりやすさについては改善の余地がある。</li> <li>・即戦力となる人材育成に向けた教育システムは魅力的であり、高く評価できる。</li> <li>・生徒が楽しそうに授業を受けている様子が印象的であった。</li> </ul> <p>3 生徒指導・支援</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・アンケート結果に見られる生徒と教員の意識の差を、真摯に受け止める必要がある。</li> <li>・学力面に課題のある生徒や消極的な生徒への支援をさらに充実させてほしい。</li> </ul> <p>4 進路指導</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・進路指導への取組に感心した。</li> <li>・個々の生徒の適性や希望に応じた、きめ細かな進路支援がなされていると感じた。</li> <li>・企業や上級学校との連携を活かした、実践的な進路指導の充実を期待する。</li> </ul>				

#### 5 学校環境・施設整備

- ・校内の各種整備が非常に充実していると感じた。
- ・校内はごみ一つ落ちておらず、清潔で快適な環境である。
- ・共学化に伴い環境整備が進み、教育活動が活発になってきたと感じる。
- ・共学化により校内が明るくなった。

#### 6 校風・学校文化

- ・校風の改善が進んでいると感じる。
- ・教育活動に前向きに取り組み、学校全体が大きく変化していると感じる。

#### 7 地域連携・外部連携

- ・学校後援会として、全国大会等への支援を行っていきたい。
- ・地域に根ざした学校として、地域との連携を深め、各種行事への相互参加が進むことを期待する。
- ・ボランティア活動や地域貢献への取組を一層充実させるべきである。
- ・生徒・地域・保護者等によるトークセッションなどの機会を設け、地域性や社会性、大人の経験(成功・失敗・反省等)を共有する場の検討を期待する。

#### 8 課題(横断的整理)

- ・授業の分かりやすさや清掃面については、現状に改善の余地が見られる。生徒がより主体的に学び、安心して過ごせる環境づくりの観点から、継続的な見直しと具体的な改善策の実施が求められる。
- ・アンケート結果に見られる生徒と教員の意識差については、学校運営上の重要な課題として捉え、双方向のコミュニケーションを通じて相互理解を深めていく必要がある。
- ・基礎学力に課題のある生徒や消極的な生徒への支援については、個別最適な指導や学習機会の充実を図り、学習意欲の向上と自己肯定感の育成につなげていくことが求められる。
- ・実社会で活用できる英語力の育成については、従来の指導に加え、実践的なコミュニケーション能力を高める取組を一層充実させることで、学校全体の魅力向上につながることを期待される。